

# 「鈴なりブドウに笑顔～大迫小 3,4年生収穫」

## 鈴なりブドウに笑顔

### 大迫小 3、4年生収穫

#### 花巻

花巻市大迫町の市立大迫小学校(宮川琢夫校長、児童114人)のブドウ収穫

体験は15日、同小で行われた。作業には3、4年生のほか、地元の県立大迫高校の生徒も参加。児童たちは

甘く熟したブドウをもぎ取り、実りの秋を実感した。同小では地元住民で組織する大迫小ブドウめげな会から指導を受け、大迫の名産であるブドウについて学

んでいる。今年度も6月につる切りを行うなどし、ナイアガラやキャンベルを育ててきた。児童約40人が、同高の1

3年生11人と同会の会員から指導を受けて作業に励んだ。児童は枝にはさみを

入れて鈴なりに実ったブドウを収穫。取れたてを頬張ると「すごい

甘い」「おいしい」と、秋の味覚を堪能した。

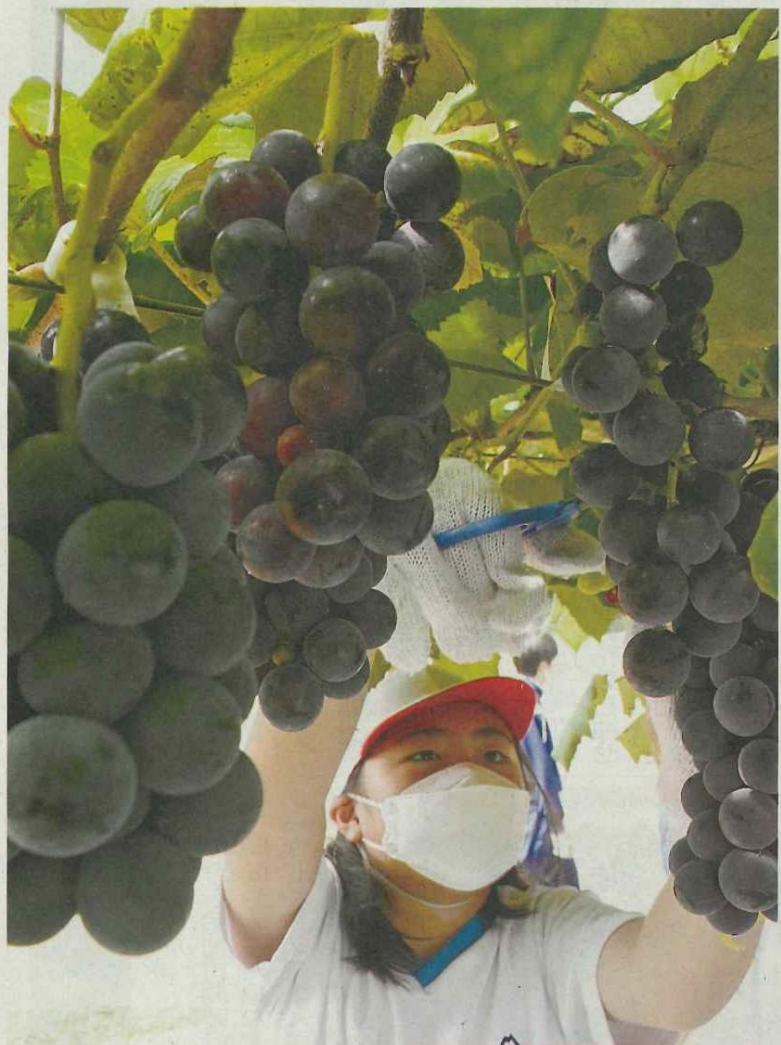
同小の丹野 同小の丹野 同小の丹野

入れないと枝 入れないと枝 入れないと枝

が切れず、少 が切れず、少 が切れず、少

し大変だった し大変だった し大変だった

けど楽しかった。ブドウは けど楽しかった。ブドウは けど楽しかった。ブドウは



自分たちが育てたブドウを収穫する大迫小の児童

は「みんな積極的に作業していき、収穫も上手。小

学生と一緒に作業することができ、自分たちにとっても貴重な体験になった」と語った。

同小のブドウはハクビシンの被害を受けており、今季からは保護カバーを取り付けて被害を防いだ。同会の鈴木寛太会長(30)は「カ

バーのおかげで被害はだいぶ少なかった。ブドウは天候不順などのため、色付きは良くないが、収穫量は良い」と語った。収穫したブドウは児童が持ち帰るほか、近隣保育園などに贈られる。

